

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月17日		記入者		連絡先	784-1141
平成18年度部名	企画部		課名	津久井町地域振興課	課長名	天野眞一
平成19年度部名	市民活力推進部		課名	津久井町地域自治区事務所	課長名	天野眞一
事務事業名	津久井町史編さん事業					
予算上の事務事業名	津久井町史編さん事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標	#N/A					
政策名	#N/A					
基本施策名	#N/A					
施策名	#N/A					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
津久井町史編さん基本方針						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	津久井町史編さん基本方針			津久井町史（資料編・通史編・別編）及び付帯刊行物の刊行。それに伴う資料収集、調査、研究及び編集作業を行う。		
計画年次	平成9	年度～	平成23	年度		
4 事業形態の区分	記録・統計・保存 ▼			5 事業開始年度	平成8年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
津久井町の歩みを正確に体系的に記録し、後世に伝える。 調査・収集した歴史的資料をも文化遺産として、保存と活用を図る。 津久井町史の編さんにより、歴史への関心をより高め、より健全な郷土意識を育める環境をつくる。					市民（事業全体） 講座・参加型調査においては、おもに40代以上の女性・定年後の男性他 資料所蔵者・研究者	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
町史資料編の編集作業		「資料編考古・古代・中世」の編集作業（通年） 委員編集作業71回				
部会別活動・資料収集活動		編さん委員会1回、部会等3回、資料確認作業108回、自然分野別調査93回				
市民参加型調査・講座等		「津久井町の古文書を読む会」12回開催・226名参加				
協力事業		グリーンカレッジ津久井歴史講座・市博物館資料調査・文化財保護室調査等への協力				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
相模原市史編さん事業	市史統編編さん事業進行中（市史編さん室）					
城山町史	終了 本編（通史・資料編）7巻					
相模湖町史	編さん中 本編3巻（既刊2巻）					
藤野町史	終了 本編（通史・資料編）3巻					
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	9,741	18,897	20,270	
一般財源	0	0	9,741	18,497	19,770	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	400	500	
人件費の合計	0	0	16,100	16,100	16,100	
事業コスト合計	0	0	25,841	34,997	36,370	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	町史の発行			対象名称 と単位	町史発行部数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	0	0	9,741	18,897	20,270	
対象数	0	0	1,000	1,000	1,000	
単位あたり経費（円）	#DIV/0!	#DIV/0!	9,741	18,897	20,270	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.94	1.07	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	町史の発巻数		指標式と指標の説明	町史の発巻数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	町史発巻数（完了まで）		指標式と指標の説明	発行巻数/平成23年までの発行総数*100 町史の発巻率	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	7.0	7.0	7.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	14.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
[] : 良好な状態を維持する事業					
[] : 概ね良好な状況である事業					
[] : 見直しを行う必要がある事業					
[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		郷土の歴史、文化を正確に後世に伝えるとともに、健全な郷土意識を醸成するために必要な事業である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
町史発巻に当り、編纂委員会等の意見を聞きながら、計画的な発巻に努める。			編集方針に基づき、平成23年までに7巻の発行となっていることから、体制の充実を図る必要がある。 また、組織の位置付けとして自治区事務所から市史編さん室に移行することが望ましい。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業費等の精査に努め、計画的な発行をすること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			